北海道医師会館９階理事会室

第17回常任理事会

日　時　令和５年11月14日（火）18：00～19：32
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、目黒・橋本・水谷・山科・青木・荒木・長谷部・菅田・髙橋・寺本・白崎・村上各常任理事、藤瀬・梶・阿久津各監事
（事務局：三瓶事務局長ほか14名）

協議事項

第１号　北海道医師会職員育児・介護休業規程の一部改正に関する件（目黒常任理事）

育児・介護休業法施行規則の改正に基づき、北海道医師会職員育児･介護休業規定の第10条第３項「子の看護休暇」および第11条第３項「介護休暇」において、それぞれ時間単位で取得できるほか、１日の所定労働時間が４時間以下の労働者も取得できるよう改正することについて承認し、12月９日（土）開催予定の理事会に諮ることと決定。

第２号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座７件を承認することと決定。

報告事項

１．北海道三師会［10月23日（月）］について（目黒常任理事）

北海道薬剤師会の当番で開催した。各団体の会長挨拶、出席者紹介の後、「地域医療提供体制について各会が思うこと」をテーマに各団体から話題提供があり、当会からは荒木常任理事より「第８次医療計画における地域医療体制の概要」について発表した。その後懇談を行い60名が参加した。

２.第54回全国学校保健･学校医大会［10月28日（土）･兵庫県］について（荒木常任理事）

日医の主催、兵庫県医師会の担当で「子どもたちの健やかな成長を守る～我々が守らなければ誰が守る！～」をメインテーマに開催された。午前に５つの分科会、午後に開会式と表彰式があり、「トラウマインフォームドケア～子どもたちのトラウマを理解し、社会がどう変わるべきか～」をテーマとしたシンポジウムと、「淡路島のサルから考える寛容性と協力社会」と題した特別講演が行われた。参加者は588名であった。次回は、宮崎県医師会が担当となり、来年11月９日（土）に宮崎県・宮崎市で開催予定である。

３．第30回日本航空医療学会総会［11月３日（金･祝）～４日（土）］について（目黒常任理事）

社会医療法人孝仁会・齋藤孝次理事長が会長となり、「検証と継承」をテーマに開催された。第30回記念講演、特別講演、シンポジウム、パネルディスカッション、一般演題等が行われ、参加者は485名であった。次回は来年11月15日（金）～16日（土）に、社会医療法人仁愛会浦添総合病院・米盛輝武救命救急センター長が会長となり、沖縄県で開催予定である。

４．外部各委員会報告

⑴　北海道医療対策協議会「第３回地域医療を担う医師の確保に関する検討委員会」、「第３回地域枠医師キャリア形成支援検討委員会」、「第４回専門医制度等に関する検討委員会」［10月17日（火）・Web併用］について（佐古副会長）

３検討委員会が合同で開催された。これまでの議論を踏まえた次期北海道医師確保計画の素案（案）ならびに北海道医師計画の推進について説明があり、提案どおり了承された。また、国における医師臨床研修制度の見直しについて情報提供があった。

⑵　第３回北海道社会福祉審議会地域福祉支援計画専門分科会［10月30日（月）］について（藤原副会長）

北海道地域福祉支援計画の新旧計画を比較し、現行計画等について協議後、第２期計画の素案について意見交換を行った。

⑶　自衛隊艦艇等を活用した災害医療活動企画委員会に係る図上訓練［10月30日（月）］について（白崎常任理事）

大規模災害における自衛隊艦艇等を活用した災害医療活動のフィージビリティに関して検証を行うため、長距離搬送準備および実施に係る図上訓練が開催された。訓練は日本海溝・千島海溝等周辺海溝型地震（千島海溝モデル）を用いて、釧路沖洋上において海上自衛隊補給艦「おうみ」にヘリコプターより入院患者を受け入れて、被災地外の港まで長距離搬送する想定で実施され、課題等を確認した。

⑷　北海道犯罪被害者等支援施策推進懇談会［10月31日（火）］について（目黒常任理事）

第４次北海道犯罪被害者等支援基本計画の進捗状況の報告後、意見交換を行った。

⑸　指導が不適切である教員の認定等に関する第１回意見聴取会［10月31日（火）］について（荒木常任理事）

北海道教育委員会が主体となって実施している指導改善研修制度について説明後、対象教員の状況について報告があった。

⑹　第３回北海道障がい者施策推進審議会［11月１日（水）］について（藤原副会長）

第３期北海道障がい者基本計画・第７期北海道障がい福祉計画（仮称）の計画素案（案）について協議後、グループホーム入居者の結婚等に係る意思決定支援について意見交換を行った。

⑺　第４回北海道高齢者保健福祉施策検討協議会［11月２日（木）・Web会議］について（藤原副会長）

令和５年度北海道計画の中間事業評価について報告後、令和６年度地域医療介護総合確保基金（介護分）事業提案への対応ならびに令和６年度基金事業について、また、第３回検討協議会における道作成指針への意見ならびに次期北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画素案（案）、共生社会の実現を推進するための認知症基本法について報告、意見交換を行った。

⑻　第１回北海道鉄道活性化協議会幹事会［11月７日（火）］について（荒木常任理事）

本協議会の事業成果および今後の対応方針（案）について説明があり、協議後、第１回全体会議の議題や北海道鉄道活性化フォーラム（11月20日開催）の開催概要について報告があった。

⑼　北海道医療対策協議会「第３回地域医療を担う医師養成検討分科会」、「第４回専門医制度等検討分科会」［11月７日（火）・Web併用］について（佐古副会長）

２分科会が合同で開催された。次期北海道医師確保計画の素案（案）ならびに令和５年度北海道医師計画の推進状況について説明があり、提案どおり了承された。また、特定労務管理対象機関の指定について、札幌市内の医療機関から申請があったこと、Ｂ水準については、札幌圏域地域医療構想調整会議において地域医療提供体制への影響がないことが確認されていること等について説明があり、意見交換の結果、了承された。

５．中央情勢報告

「控除対象外消費税問題」「インボイス制度」について（荒木常任理事）

医療に係る控除対象外消費税の問題や本年10月から始まったインボイス制度の医療機関への影響などについて小職から説明し、意見交換を行った。

６．その他

⑴　自由民主党北海道支部連合会　道政課題に関する令和５年度「団体政策懇談会」［11月28日（火）］の対応について（荒木常任理事）

本懇談会の開催日時や開催場所、要望事項（目次ベース）などについて報告後、説明する要望事項や説明者、出席役員について確認した。

道総医協関連事項（藤原副会長）

１．第４回地域保健専門委員会［10月27日（金）・Web会議］について（藤原副会長）

がん診療連携拠点病院等の指定推薦等手続きの概要、指定更新・現況報告状況ならびに指定要件の未充足状況等について説明後、がん診療連携拠点病院等の指定推薦について協議した。

２．第７回地域医療専門委員会［10月31日（火）］について（佐古副会長）

国が定めた基準病床数の算定式に基づいて算出した令和６年４月時点の基準病床数が、平成30年４月と比較して約3,000床増加したことや増加した理由について説明があった。また、前回の本委員会での意見などを反映した次期北海道医療計画素案（案）について協議し、次期北海道医療計画に掲載する医療機関名等の変更手続きについて報告があった。

第18回常任理事会

日　時　令和５年11月28日（火）18：00～19：08
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、目黒・橋本・水谷・青木・荒木・長谷部・菅田・髙橋・寺本・白崎・村上各常任理事、藤瀬・梶・阿久津各監事、長瀬顧問
（事務局：三瓶事務局長ほか14名）

協議事項

第１号　母体保護法指定医師の指定に関する件（目黒常任理事）

持ち回りの審査委員会において指定可とされた新規申請者１名を指定医師とすることと決定。

第２号　令和５年度会費減免の追加申請に関する件（目黒常任理事）

道医会費の追加減免申請者は、一般減免１名・医学部卒後５年減免22名の合計23名で免除額364,000円、日医会費の減免申請者は、一般減免１名・医学部卒後５年減免24名の合計25名で免除額244,000円となる。以上の減免を了承し、次回理事会に諮り、来年３月の代議員会に諮ることと決定。

第３号　北海道医師会職員給与規程等の一部改正に関する件（目黒常任理事）

国の人事院勧告に基づき、北海道人事委員会が勧告した道職員の令和５年度給与改定に準じて、若年層を重点に置き全職員に効果が及ぶよう給与表を改定し、また、期末・勤勉手当についても年間0.1か月引き上げることについて、当会職員も同様に適用することを承認し、次回理事会に諮ることと決定。

第４号　電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程に関する件（菅田常任理事）

法に基づき、新たに、「電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規定」を整備し、来年１月１日付けで制定することと決定。

第５号　令和６年新年交礼会［１月６日（土）・札幌グランドホテル］の開催に関する件

（目黒常任理事）

来年１月６日（土）午後６時30分より、札幌グランドホテルで開催することと決定。

第６号　第６回理事会［12月９日（土）・札幌パークホテル］の議案に関する件（目黒常任理事）

12月９日（土）午後４時から札幌パークホテルにおいて開催する第６回理事会の提出議案を決定。

第７号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座３件を承認することと決定。

第８号　その他

⑴　12月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

１．介護保険制度・障害者総合支援法にかかわる主治医研修会について（菅田常任理事）

北海道からの受託事業として実施している本研修会を、苫小牧・函館・北見の３地域で現地開催したほか､札幌ではハイブリッド方式で開催した。また、札幌会場では北海道ヘルスケア・ロボット協会の協力のもと、介護用ロボット機器等を展示するミニロボット展を初開催した。小職をはじめ当会担当役員が、介護保険制度における主治医意見書の記載例を解説し、北海道保健福祉部より、同制度の概要と障害者総合支援法について説明を行った。出席した医師には、北海道から受講修了証が発行される。参加者は合計437名であった。

２．医業経営講習会［９月６日（水）・旭川市］について（寺本常任理事）

医療総研株式会社・伊藤哲雄代表取締役社長を講師に迎え「診療圏分析と医療経営戦略」をテーマに、釧路市医師会の協力のもと開催した。社会の高齢化に伴い、医療機関における機能の明確化等を含めた今後の経営戦略について講演があった。参加者は会員および事務担当者を含め、20名であった。

３．勤務医懇談会［10月４日（水）･北見市、11月17日（金）･室蘭市］について（水谷常任理事）

北見・紋別・美幌各医師会および室蘭市・胆振西部両医師会管下医療機関の勤務医を参集して開催した。鈴木副会長から「医師会の組織強化」について、長谷部常任理事から「医師の働き方改革」について話題提供があり、勤務医を取り巻く諸問題について地元の先生方からスピーチの後、活発な意見交換が行われた。参加者は北見市29名、室蘭市46名であった。

４.患者接遇に関する研修会［10月26日（木）･室蘭市］について（寺本常任理事）

北海道医療勤務環境改善支援センターより小山田剛氏を講師に迎え「ホスピタリティと傾聴トレーニング」をテーマに、室蘭市医師会の協力のもと開催した。実践形式のワークを交えた研修内容で、参加者は会員および看護師等従業員を含め、60名であった。

５．武見国際保健プログラム設立40周年記念シンポジウム［11月11日（土）・日医会館］について

（佐古副会長）

「デジタルヘルスー地域医療にとっての機会と課題」をテーマにシンポジウムが開催され、デジタル技術の保健衛生への活用について議論した。日医・松本会長の主催者挨拶後、日医・長島常任理事の基調講演等があり、最後に武見フェローから提言がなされ閉会した。

６．第47回北海道救急医学会学術集会［11月11日（土）・札幌医科大学教育研究棟］について

（白崎常任理事）

北海道救急医学会会長である札幌医科大学医学部救急医学講座・成松英智教授が当番幹事となり、同大学で開催された。特別講演、教育講演、シンポジウム、一般講演が行われ、参加者は430名であった。次回は来年10月26日（土）に旭川医科大学医学部医学科救急医学講座・岡田基教授が当番幹事となり、旭川市で開催される。

７．日本医師会防災訓練（災害時情報通信訓練）［11月16日（木）･Web会議］について（白崎常任理事）

本訓練は、災害時における都道府県医師会等との連携およびJMAT（日本医師会災害医療チーム）による活動の充実を図ることを目的に行われている。今回は北海道・千島海溝地震による津波災害を想定し、当会と釧路市医師会が参加して、スカパーJSAT「JCSAT」､スターリンク､日本NTTドコモ「ワイドスターⅡ」の通信衛星およびインターネット回線を利用したWeb会議等により、災害発生から発災後16週経過までの対応について、シナリオに沿った机上訓練を実施し、都府県医師会、関係官公庁などが視聴した。

８．日医女性医師支援・ドクターバンク連携　北海道・東北ブロック会議［11月18日（土）・福島市］について（水谷常任理事）

日医女性医師支援センターでは、平成21年度より女性医師等がライフステージに応じて柔軟な勤務形態の促進やキャリア形成を図り医師確保対策に資することを目的として各地域で情報交換の場を設けており、今年度は、福島県医師会の担当で開催された。女性医師支援センターから、活動方針とメイン事業となる女性医師バンク事業、再就業講習会事業の進捗・実績等（令和５年９月30日現在）について報告があった。また、「ダイバーシティを踏まえたキャリア支援について」をテーマに各道県医師会から取り組みについて紹介後、意見交換が行われ、当会か

らは長谷部常任理事より医師キャリアサポート相談窓口の各事業の実績や、ダイバーシティを踏まえた相談事例について報告した。次回は、秋田県医師会の担当で開催予定である。

９．第11回全国ID-Link研究会in佐賀［11月25日（土）・佐賀市］について（藤原副会長）

「医療情報連携ネットワークがもたらす地域連携の価値～これまでも、これからも～」をメインテーマに約150名の参加者のもと開催された。各地域の事例報告に続く座談会では、地域連携ネットワークが順調に運用されているところでは協議会組織は必要ないのではないかといった発言がある一方、地元行政と二人三脚で取り組んでいくことの重要性が強調された。次回は来年11月30日（土）、徳島県で開催予定である。

10．第70回北海道学校保健・安全研究大会［11月26日（日）・札幌市］について（荒木常任理事）

「生涯を通じて、心豊かにたくましく　北の大地を生きる子どもの育成を目指して～都市と自然が調和する美しいまちから自立した札幌人の育成を目指し　well-beingにせまる～」をメインテーマに札幌市で開催され、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、教職員計74名に対する学校保健功労者表彰が行われた。行政説明、国立成育医療研究センター・山口有紗先生より「コロナ過と子どものこころ」をテーマにした基調講演の後、「学校経営と組織活動」、「保健管理・保健教育、安全管理・安全教育」、「現代的健康課題」について協議を行った。参加者は97名であった。

11．北海道保険医会との懇談会［11月27日（月）］について（荒木常任理事）

今年度は当会の担当で開催した。保険医会から「保険証の廃止問題」をテーマに伊藤正美理事から話題提供があり、当会からは「外来機能報告と紹介受診重点医療機関」をテーマに小職から話題提供を行い、意見交換を行った。

12．自由民主党北海道支部連合会「団体政策懇談会」［11月28日（火）］について（荒木常任理事）

松家会長ほか10名の役員が出席し、自由民主党北海道支部連合会に対して15項目の医療政策について要望した。そのうち、診療報酬改定、国民皆保険の堅持、医療DX、医療人材（医師・薬剤師）の確保が特に重要な要望事項であることを小職から説明し、意見交換を行った。また、喫緊の課題として医療機関への物価高の支援を行うための重点支援地方交付金について、各医療機関が有効に活用できるよう協力を依頼した。

13．外部各委員会報告

⑴　道北ドクターヘリ運航調整委員会［11月16日（木）・旭川市］について（青木常任理事）

委員長である旭川市医師会・滝山会長の挨拶後、令和４年度の月別実績や年度別出動実績、未出動理由、疾患別実績などについて報告があった。北海道ドクターヘリ４基地病院の出動推移としては、道北、道央および道東ドクターヘリが近年減少傾向であるが、道南ドクターヘリは高止まりしており、唯一400件以上の出動実績であった。

⑵　第４回自衛隊艦艇等を活用した災害医療活動訓練企画委員会［11月20日（月）・Web会議］について（白崎常任理事）

10月30日に実施された図上訓練の結果を踏まえ、自衛隊艦艇を用いて、被災地の釧路市から、中継港・着地港の秋田港までの長距離搬送（搬送間の救護を含む）を行う想定の実動訓練を、12月８日から９日に海上自衛隊横須賀基地で実施するとの報告があった。出席委員からは、艦内の医療従事者の交替人員を確保すべきとの意見や新興感染症患者が発生した場合などの追加要素の提案があり、事務局で検討することとなった。

⑶　北海道鉄道活性化協議会第２回全体会議［11月20日（月）］について（荒木常任理事）

事業成果および今後の対応方針（案）、決議文「持続的な鉄道網の確立に向けて（案）」について協議し、了承した。また、来年度の事業検討に向けたスケジュールについて説明があった。

14．各部報告

⑴　警察医部会（仮）設置について（鈴木副会長）

北海道警察医会の解散に伴い、当会内に新たな組織となる部会を設置する準備を行っている。なお、設置の主たる理由は、大規模災害時に備えて検案業務を迅速に行う体制を整えることである。

15．その他

⑴　北海道医師会新型コロナウイルス感染症記録誌の発行について（荒木常任理事）

本誌について、今後の感染症対策に活用するほか、この経験・教訓を次世代に継承し、会員や郡市医師会等の感染症対策等へも活用してもらうことを目的にプロジェクトチームを立ち上げ、編集作業を行ってきた。感染症法上の位置づけが５類に移行された本年５月８日までの記録として12月発行で進めており、本誌は400部作成したのち当会役員をはじめ、郡市医師会、都道府県医師会、日本医師会、道庁等に配付予定である。また、本誌のPDFデータと新型コロナウイルス感染症に係る経過をまとめた年表については、会員も閲覧できるよう当会ホームページへ掲載を行う。